

文部科学省平成24年度採択 大学間連携共同教育推進事業  
「教学評価体制(IRネットワーク)による学士課程教育の質保証」

2014年度IRシンポジウム

# IRの導入と 教学評価体制

—大学間連携の視座から—

2014年8月5日(火)

13:00-17:00〔受付開始 12:30〕

甲南大学岡本キャンパス(神戸市)  
5号館 1階 511教室

参加費  
無料  
(要事前予約)  
※情報交換会は会費制

## PROGRAM

12:30-13:00 受付

13:00-13:10 開式のことば

開催校学長挨拶

13:10-13:20 取組紹介

細川 敏幸氏 (北海道大学 高等教育推進機構 教授)

13:20-14:10 基調講演

わが国の大学における  
IRのありかた

小林 雅之氏 (東京大学 大学総合教育研究センター 教授)

14:10-14:30 (休憩)

14:30-15:30 大学間連携事業中間報告

《英語力調査報告》

伊庭 緑氏 (甲南大学 国際言語文化センター 教授)

石川 隆士氏 (琉球大学 法文学部 教授)

《卒業生調査報告》

平林 孝裕氏 (関西学院大学 高等教育推進センター長・国際学部教授)

徳井美智代氏 (北海道大学 高等教育推進機構 特任准教授)

15:30-15:50 (休憩)

15:50-17:00 パネルディスカッション

《司会》

山田 礼子氏 (同志社大学教授、同大学教育支援機構副機構長、学習支援・  
教育開発センター所長、高等教育・学生研究センター長)

《パネリスト》

小林 雅之氏

猪股 志野氏 (文部科学省高等教育局 大学振興課 大学改革推進室長)  
他

《情報交換会》 会費¥4,000 (当日受付にてお支払いください。)

17:30-19:30

## 開催趣旨

高等教育機関において、IRというキーワードが急速に広まり、その活動に携わる高等教育関係者も増えつつあります。例えば、本事業に協力をお願いしている大学IRコンソーシアムにはすでに34校が参加を表明しています。IRとは、高等教育機関の教育・研究、学生支援、経営等の改善や改革に生かすことを目的に、自学の様々なデータを収集、蓄積、分析する調査・研究活動であることは、もはや言うまでもないことかもしれません。

さて、本事業の特徴は、自学内で閉じたIR活動ではなく、8大学が連携した取り組みであることです。平成24年9月の事業採択から、今年4月で3年目に入りました。シンポジウムは、過去2回開催しています。第1回目のキックオフシンポジウムでは、米国におけるIR活動について、ご講演いただきました。昨年の第2回シンポジウムは、「教学評価の国際的進展と日本の今後」と題し、韓国におけるIR活動についてご講演と、連携校における取り組み事例について紹介しました。

本年は、基調講演として、日本におけるIRのありかたについてご講演いただきます。また、本事業の中間報告として、英語力調査と卒業生調査から得られた成果について紹介します。パネルディスカッションには、文部科学省高等教育局の方もお招きし、教学支援体制の構築や人材育成、大学間における連携等、幅広く日本におけるIR活動に関して討論をおこなう予定です。本シンポジウムにより、多数の大学が連携したIR活動の未来像が見えてくることを期待しています。

ご関心をお持ちの高等教育関係者の方のご参加をお待ちしております。

### 申込方法

電子メールでお申込みの場合①氏名(フリガナ)、②所属、③部署、④役職、⑤メールアドレス、⑥電話番号、⑦FAX番号、⑧情報交換会への参加の有無をご記入の上、[irnw@high.hokudai.ac.jp](mailto:irnw@high.hokudai.ac.jp) までご送信ください(タイトルに「IRシンポジウム申し込み」とご記入ください)。FAXでお申込みの場合は、上記情報を011-706-7344までご送信ください。

### 申込期限

**2014年7月22日(火)**

### お問い合わせ先

## 北海道大学 高等教育推進機構 IRネットワーク推進室

〒060-0817 北海道札幌市北区北17条西8丁目 IRネットワーク推進室

TEL & FAX : 011-706-7344

メールアドレス : [irnw@high.hokudai.ac.jp](mailto:irnw@high.hokudai.ac.jp) ホームページ : <http://8gp.high.hokudai.ac.jp>



JR 摂津本山駅下車 または 阪急 岡本駅下車 北西へ徒歩10分

